

先輩たちはどこへ？《過去3年の進路傾向》

ここ数年の傾向をおもな数字で見てください。進学者は実数。(大学名)はのべ合格数です。

	H30/3月卒業生	H31/3月卒業生	R2/3月卒業生
国公立大進学者	94	92	86
(旧帝大&筑波)	10	3	6
(福島大)	8	18	8
(新潟大)	17	13	11
(山形大)	9	3	8
(茨城大)	9	4	7
(宇都宮大)	3	5	2
(埼玉千葉横国大)	5	5	5
(県医大医)	5	2	2
(県医大看)	0	2	3
(会津大)	8	7	6
私立大進学者	111	120	115
(早慶上智理)	10	12	8
(GMARCH)	19	14	25
(日東駒専)	38	53	30
(東北学院)	12	25	10
	(7クラス)	(7クラス)	(7クラス)

※大学別・学部別等の詳細は、進学資料「学而の決意」を参照のこと

*()に示した国公立大や難関私大は、多くの先輩たちが目指してきた主な志望先。

※レベルの違いはありますが、志望実現の近道は、絶対的基礎力を身につけることです。

進路選択と【参考値としての数字】

★会津高校は、今年、学年6クラスの完成年。3年生も単純計算すれば、これまでの6/7(約86%)の数が見込めるが、果たしてどうだろう？——入試も進路選択も数字やレベルだけで測れるものじゃない。進路選択のために大切なことは何か、数字はあくまで参考に、冷静な分析をしよう。

さてさて…【世間は宙ぶらりん】でも、【今に全力で取り組む】強さ。

- 昨今の進学事情は混んとしている。特に3年生は、入学以来、右往左往する政策に振り回されてきた。センター試験に代わる「共通テスト」開始。英語の民間テストの導入断念。そして今度は新型コロナウイルスによる長期休校。間近に迫る「総合選抜型・学校推薦型」に名称を変えた推薦A0入試の評価の在り方。この先、入試日程も含めて、いったいどこに着地するのかまったく不透明だ。ワクチン等の開発が見通せないかぎり、どんな予定も確実性が低い。そう考えるとみんなの不安は当然だ。
- が、しかあ～し！何らかの見通しが立って、いざ出陣！となった時、何の準備もできていない、ゼロ、いやマイナスからのスタートとなってしまうえば、残るのは悔いだけ。自治体によって、さらなる悪条件のもとで不安を増大させている人たちがいることと思えば、わがままは言っていられない。全国の、世界の人々の健康を願いながら、自分のできることに最大限の努力を惜しまず取り組むことが、会高生として国民として、地球人としての使命だ。

授業ばかりじゃない

「社会人としての資質」を高めるために・・・

～特別活動のススメ～



えっ!?「特別活動」って「〇〇活動」!?

もう6月。もうすぐ梅雨を迎える季節。とりあえず通常の日々に戻りかけていますが、1年生は高校生活のリズムを築くことができているでしょうか?まあ、最初の定期考査が終わらないと軌道に乗らないのが高校生活の常。しっかり準備して、今月末からの前期第1回考査に臨んでくださ～い!

で、今回取り上げるのは「特別活動」。1年生にとって、高校での部活動は入学前からの楽しみやあこがれだった人もいます。2・3年生は、後輩が入ってきて何かと気合いが入るところ。勝利を目指して燃える運動部、心一つにいろんなものを築き上げる文化部。何かに熱中したり、ボランティア活動したり。生徒会活動・行事で協力し合っても達成感や成就感を得ることができるよね。ホームルームも強歩大会・マラソン大会も修学旅行も、み～んなみ～んな「特別活動」。



悩悩

でも、みんな、たいてい悩む。

悩悩



上下関係で悩む。チームワークに悩む。目標設定に悩む。勉強との両立に悩む。時間の管理に悩む。才能に悩む。仲間の力不足に悩む。結果が出ないことに悩む。金銭的に悩む。健康面で悩む。

悩んで悩んで、もがき苦しみながら壁を崩して乗り越えて・・・新たな友が見つかって、自分の弱さに気がついて、自分の長所を見いだして、周囲の支援に感謝して・・・それでも思った通りにいくことは少なく・・・

それでいい。だって、これって社会に出れば当たり前のことだもの。精神的に落ち込んだり、前を向いたり、病気になったり、元気になったり、お金があつたりなかったり・・・そもそも「悩む」にはエネルギーが必要。トシをとると、エネルギーがなくなって「悩む」ことすらできなくなる。「悩む」ことができるのは若さの象徴なんだよ、みんな!

～やがて、組織の仲間、上司、部下、取引相手、お客さん、生徒、患者、時には商売敵と。戦ったり、協力したり、いがみ合ったり、打ち解けたり・・・豊かなコミュニケーションをとりながら、社会の一員として生きていく。

そのための訓練と思えばいい。と言うより、「特別活動」ってホントは「普通活動」。だから、進路選択やその実現に大きな役割を果たすんだよ。

～今年度「進路だより」第1号より～

適切な進路選択のために実践して欲しいこと ①年生!!

将来、「世界の平和」と「人類の幸福」に貢献できる社会人になることを最終目標に、高校生活に慣れ、まずは「**自分を
知ること**」「**仕組みを知ること**」に努めてください。

○教科の学習を通して**自分の学力や適性**を知る。文系・理系選択がすぐに待っています。

○HR活動・部(委員会)活動・生徒会活動・学校行事を通して、**自分の性格や特性**を知る。

○日常の活動やHR、メディアを通じて、**社会の仕組みや問題**を知る。

○HRや面談、進路資料、総合・探究活動などを通して、**職業、大学や学部・学科、入試制度**について知る。

これは**②年生!!**にも**③年生!!**にもあてはまる。これから先も納得できるまで、一生繰り返し。

「普通活動」を有効活用して、自分をよく知り、心を磨き上げるのだ!

③年生に求む!: 今回のテーマは、本来なら入学時やその後の日常で意識し、それぞれの活動を意義あるものにするためのヒント。今年は、その集大成の機会を奪われ、もう区切りをつけてしまった人が多いと思われます。——今、そういうみんなに求めたいのは、たとえ中途半端であっても、これまでの活動を通じて「何を得たのか学んだのか」、これからに「どう生かすのか」を整理して、意義ある財産にする主体的な姿勢です。さらに、自分を磨く機会はこれからもゼロではありません。進路選択の過程で、さらなる成長を遂げていくことは十分可能です。プラス思考で前向きに突き進もう!